

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	えがお港区店		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 4日		令和7年 3月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 23人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 4日		令和7年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達やご家族様に寄り添った支援が出来ている。	職員全員で支援に対する情報を共有しているほか、些細なことでも毎日の朝礼時に子どもやご家族様の様子を共有している。モニタリングやカンファレンス時には全員参加でそれぞれの目線から感じたことを言い合える環境を作っている。	1日の振り返りを行いその日のうちにフィードバックを行い支援の質の向上を目指していく。
2	子ども達が楽しく通ってくれている。	毎月子ども達がワクワク楽しく通えるようなイベントを考えている。(運動療育、おやつレク、製作、季節行事、祝日イベントなど) 楽しみながら活動に参加し子ども達が少しでも成長できるようにプログラムを組み支援をしている。	引き続き様々なイベントや活動を考えて実践していく中で、振り返りを行いより良い支援に繋がるように取り組んでいく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	交流会などで情報を共有したり話したりする機会がない。	交流会等の実施場所や、開催日、内容や参加対象をどこまで広げるかが課題。	事業所で交流会を実施できるように2部制にするなど工夫して開催したい。
2			
3			